

第553号



喬木村公民館：長野県下伊那郡喬木村6664



発行日 2015年4月16日
 発行責任者 喬木村公民館長
 原 美 穂
 編集責任者 公民館編集部長
 仲 田 久 志
 印刷 龍共印刷株式会社

平成27年度 公民館活動計画

魅力いっぱいの公民館事業に参加しましょう!!

◆公民館本館名簿

公民館長 原 美 穂
 ◎：部長 ○：副部長

専門部	氏名	分館
編 集 部 名	◎ 仲 田 久 志	南
	○ 杉 本 美 紀	南
	池 田 英 明	上 平
	塩 澤 真 由 美	富 田
社 会 部 名	◎ 木 下 岳 岳	南
	○ 知 久 隆 文	北
	湯 澤 めぐみ	馬 場
	後 藤 美智世	町
	北 澤 哲 也	町
	宮 澤 八 穂	北
	瀨 川 義 寿	伊 久 間
	牧 内 惠 剛	伊 久 間
	木 下 富 田	富 田
	◎ 牧 内 良 久	伊 久 間
体 育 部 名	○ 原 一 夫	寺 前
	湯 澤 直 幸	北
	下 澤 修 子	南
	大 平 誠 雄	牛 原
	桐 生 政 雄	伊 久 間
	大 原 ゆかり	南
	平 澤 明 香	伊 久 間
	◎ 川 口 範 子	伊 久 間
	○ 下 岡 悟 子	南
	高 野 雅 子	富 田
教 養 部 名	佐 藤 美 惠 子	南
	佐 藤 富 貴 子	町
	生 嶋 惠 子	氏 乘

公民館主事 宮 澤 文 彦
 梅 村 直 樹

公民館では、平成27年度も盛りだくさんの事業、学習会を計画していますので、その概要をお知らせします。

公民館活動について、ご理解ご協力をいただき、積極的な参加をお願いします。なお、学習会やイベントなど、公民館で取り組んでほしいこと、詳しく知りたいこと等がありましたら、事務局までお気軽にご連絡ください。

編集部	○公民館報たかぎ 毎月発行 ○公民館報たかぎ縮刷版(第2輯・第3輯)在庫販売 ※分館や村民の皆さんからの投稿をお待ちしています!!	部員募集中!
社会部	○映画と絵話の夕べ(夏休み) 希望分館へ巡回します ○たかぎふるさと祭り盆踊り(8月15日) ○総合文化祭芸能大会(11月8日) / 作品展示(11月6~8日) ○ふるさとづくりフォーラム(2月14日)	
体育部	○分館対抗球技大会 5月24日 ベタンク 7月5日 女子ソフトバレーボール 9月27日 男女混合ソフトバレー 10月25日 女子バレーボール 2月7日 卓球 ○その他大会等 5月27日 チャレンジデー 11月1日 駅伝大会 ○総合型地域スポーツクラブへの協力	
教養部	○楽遊塾 講演や体験、地域発見等のイベント5講座を計画 5月10日 飯山市めぐり 7月26日 郷土料理教室 9月13日 真浄寺見学 12月6日 年賀状教室(予定) 1月17日 防災講演会 ○合唱劇カネト喬木公演協力 ○椋鳩十夕やけ祭協力 ○映画と絵話の夕べ(夏休み) ○くりんネットたかぎ読み聞かせ(春・夏休み) ○たかぎふるさと祭盆踊り協力	
その他	○チャレンジデー2015 5月27日 ○広島平和のバス運行事業 8月5日~6日 ○成人式祝賀会 8月15日 ○分館出前講座・演野志隆「音楽と落語の宅配便」 5月・6月・9月・10月 ○平和学習会 ○各種教室、成人初心者教室ほか ○総合型地域スポーツクラブへの協力	

『少年』掲載作品第六号

椋鳩十顕彰会 久保田 毅

椋鳩十ものがたり 33

『底なし谷のカモシカ』
昭和二十八年三月号

「こころ十五才になる武夫は愛犬のアカをつれてこおつた雪をふみしめふみしめ、赤石山脈の原生林の中を走っていました。」

と始まります。

武夫は、狩人の父となかまの源太で、五十匹近いカモシ

カモシカたちは、三日間ほとんどの食糧を逃げてしまっていました。その夜は久しぶりに食糧をさがすことができ、とうとうとねむりこむのです。

「そのなかで三匹のカモシカだけはぐっすりとはねむらな

かったのです。片目だけは絶えず開いておりました。そして、耳を絶えず動かして物音を聞

き、鼻を風上に向けて空気に

おいをかいておりました。すーっと朝の空気を吸い込んだ時、いやなにおいをかぎました。狼犬です。

「二匹の大カモシカは、群れから突然はなれてかけだしました。そして、足でも折ったかのように、ひよろひよろとして、しりもちをつきました。」

犬どもはその二匹をめぐって三方からおそいかりま

す。カモシカたちはしんと立ち上がつてかけだすのです。犬もあきらめず追いかけて、二匹をとり囲んでしま

います。武夫は二匹の



一方、父と源太は、「いいか、ぬかるなよ。おれは右のやつを、お前は左の方をねらうのだぜ」ささやきあって

「三匹の大カモシカは不思議な動作を始めました。それは、切り立ったような崖の水の壁に、ドスン、ドスンと体をぶつけるのでした。」

狩人たちは、この谷が昔から言われている、塩谷地獄で、シカやカモシカが塩をなめに行くところだと悟ります。「すると、私たちの追っかけたあのカモシカの群れも、谷の塩をなめるためにあんな群れをつくって、遠くからやってきたのかも知れませんね」

「六の口から顔を突き出した三人は、『あー!』と言って、体中に鳥肌が立つほど驚きました。切り立ったような険しい崖で、底の知れない深い

行動を見つめていたが、二本の指を口に当てると口笛をならして、集まれの合図をいたしました。このすきにカモシカは逃げる事ができました。

北保育園独自の取り組みとして行われた、子どもたち作成の「テレビに掛ける紙」は、各家庭で大活躍したようです。

谷でした。川沿いに、何十匹どころか何百にちかいカモシカがたたずんでいるのがおもしろい人形のように小さく見えるのでした。

以前訪れた高遠小学校の玄関横に一八八五年県令木梨誠一郎が揮毫したという「高遠の学」という書が掲げられていて、「高遠の学」とはいつたどのようなものであろうか少し調べてみたことがありました。

村では、毎月十日を「ノーテレビ・ノーゲームデー」としてあります。この取り組みは、メディア依存が子どもの育ちに影響することを懸念して始められたものです。

「我が家のだんらん」各家庭での取り組み。家族みんなで夕食をゆつくり食べ、今日あった出来事を話した。

祖母と母とカルタ。子どもが上手に詠んでくれて、私たち大人が札をとった。テレビに掛ける紙が大活躍だった。ちょっとした工夫でテレビをつけずに過ごせ、ビックリだった。

高遠は長いこと南信州の政治経済軍事の中心であったわけですが、江戸時代の終わり頃、高遠藩主であった内藤頼直が中村元起の申し出を受け、「興国の基礎は藩士を養成するにあり。藩士を養成するには文武を奨励するより他なし」として苦しい藩財政の中で藩校「進徳館」の設立に踏み切ったといえます。

皆様から寄せられた「だんらん」の一例をご紹介します。

絵あそび、まちがいがしらの本でまちがいがし。パパにマッサージをした。姉に平仮名を教わった。ピアノの練習を一緒にした。

元々は三三の丸学問所といったのですが、元起の師で江戸昌平坂学問所の林大学復育により「進徳館」と命名されたといえます。進徳館は明治の廃藩置県までわずか十三年間続いたに過ぎませ

高遠の学とは藩のため国のために尽くそうとする人材を輩出することにあり、「進徳館」の教育方針の中には時代にそぐわない部分もありますが、日本人の道徳として今に活かしたいことがたくさんあります。



テレビは「つけないよ!」

あの時

ふるさとづくりリフォーラム

ワークショップ「たかぎの未来を共に創るう！」

こ ろ

防 災

災害のない地域

自然災害に強い地域に



防災意識

健 康

健康寿命を日本一に



医療機関の充実を



や る べ き こ と

交 流

多くの人
が来れる施設
特に文化関係

産 業

企業誘致
(例えば、企業
の保養所、企
業の研究所
等)をする。

工場の誘致
工場用の
土地の提供



農・工・商
均衡のとれた
村づくり

自 然

里山の整備



森林資源 (里
山等) の整備
に若者を参加
させる

遊休農地の
対策

交 通

上飯田線のバ
イパス(上平へ
トンネル)



リニアの見える丘公園を整備する

健 康



予防医学の
教育充実

村内の65才以上
の全員を把握し！医療活
動を含めたケア
システムを造る

伝統・文化

伝統文化を
若者に伝える

将 来 像

南アルプスの麓
大自然の中で美味しい
空気・水・米・野菜・果物
皆が暮らしてみたいと思う村
喬木村



明るく元気な村

住んで良かった
と思える喬木村

生まれてから
死ぬまで
住みたい村

リニアの開通に
向け来訪者の受け入れのできる
村、宿泊、観光施設の充実

自治組合(各地
の自治体)の役員に女性を義務
的に参加してもらう

夢を検証
できる村で！

7000人の村づくりが出来
なくなって久しい！若者が村外
に行かなくなる方法を取る、施策

都会の子供たちが
田舎で飛び回る姿

氏乗インター(仮)
から温泉へ地元
で作る

大学の誘致で
未来の喬木村を



2月15日開催の第32回ふるさとづくりフォーラムでは、今後十年のむらづくりに村民の皆様のご意見を反映させることを目的に、「たかぎの未来を共に創ろう！」と題したワークショップ（意見交換会）が行われました。出されたご意見の一部を、ここにご紹介させていただきます。

今回得られた成果は、むらづくり未来委員会で第五次総合計画の素案を作成する際に、キーワードの一つとして活かされていきます。ワークショップでは、その他にも数多くのご意見が出されました。詳しく知りたい方は役場企画財政課（☎33-2002）まで、お気軽にお問い合わせください。

のばすところ

交流

地域の中で顔が見える関係



スポーツ等で地域間交流



スポーツ交流

育児・子育て

子どもがよくあいさつをする



子供達の学習



食育で健康な子供を

健康

高齢者(65才以上の人達)が、認知症にかかる人が増加しつつあり、その対策を村が統括的に管理すべき

産業

いちごがりなどの農業観光



- いちご狩り
- りんごオーナー
- りんご狩り

自然を生かした農業を

自然を大切にした産業と観光



6次産業化

伝統・文化

獅子舞



喬木村に残る文化、芸能

人のやさしさ

自然

自然環境

自然が豊か



自然が豊かな所

水、空気環境が良い

農村風景

景観に農業がある

近所の山・川で遊べる環境
魚・木の実など

交通

首都への交通網が便利になる
リニアで

変えたいところ

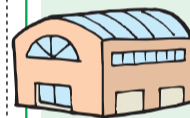
交流

任意団体間の交流



コミュニティーの再構築

「安全、安心、安定」なコミュニティーを作る



- 体育協会
- 公民館活動
- 総合型地域スポーツクラブ

育児・子育て

学力向上



- 子育てのし易い村づくり
- 若者の住み易い村づくり

子育ての母親の為、村の保育園でも就労中の方の為にあずかる（一時あずかり）システムを作る

産業

若者の定着率を上げる

若い人の働く場所をふやす



働く職場をふやしてほしい

安定した職場確保



村内に働く場所を確保する

企業誘致

村発注事業を村在住業者に発注する

2拠点居住の村づくり

村全体の土地利用

おいしい食事ができる食堂を作る



分館・公民館活動計画

今年度も各分館で様々な事業が計画されています。大勢の皆さまのご参加をお願いいたします。

分館名	分館長	主な行事
北	米山 初仁	北耕地大運動会、春のお花見ウォーキング、村政を聴く会、敬老会
寺の前	松澤 清	分館マレットゴルフ大会、ほんやり応援、花壇手入れ、健康教室(ウォーキング)、親子野外活動、敬老会、おやす作り指導
帰牛原	轟 久夫	隣組対抗球技大会、運動会、敬老会
郭	吉川 孝司	運動会、敬老会、手芸教室、正月飾り講習会、ほんやりづくり
町	近藤 晃由	健康ウォーキング、町内球技大会(マレットゴルフ・ソフトバレー)、研修旅行、女性の集い、敬老会
南	仲田 茂明	マレットゴルフ大会、スポーツ大会、おやす作り講習会、花壇作り
馬場	松沢 英章	組合運動会、花壇の手入れ・花の苗植え付け
両平	松澤 一重	地区マレットゴルフ大会、河川清掃、敬老会
田上川	松島 正志	フラワーロード各種作業、河川清掃、正月飾りづくり、歓送迎会、敬老会、研修旅行
上平	原 清志	花火大会、星見の会、敬老会、正月飾り講習会
伊久間	角野 元一	組合対抗バタンク・ソフトボール大会、マレットゴルフ大会、敬老会、わの里祭り
富田	飯島 誠	常会親睦ソフトバレーボール大会、常会対抗ソフトボール大会、南部盆野球大会、カルタ会、敬老会、陶芸館・マレットゴルフ場整備、富田夏祭り、おやす作り
大和知	多田 篤司	区民スポーツ大会、南部盆野球大会、敬老会、春祭り獅子花作り、花壇植付・管理、納涼大会、区民遠足、どんど焼き
氏乗	元島 和昭	南部盆野球大会、区民体育祭、花壇作り・花植え、河川清掃、矢筈夏祭り、敬老会、婦人部遠足、研修旅行、子供との交流会、おやす作り、ほんやり、図書貸し出し、なごみ会協力
大島	筒井 正純	シダレザクラお花見、老人を囲む会、花壇作り
加々須	牧内 長寿	夜間ソフト、夏まつり、芸能カラオケ大会、敬老会、狼煙上げ、ミニデイ、研修視察旅行、花いっぱい運動、獅子舞保存会支援、手芸講習、女性の集い

たかぎ俳句クラブ 弥生句会

雨あがり見渡すかぎり草萌ゆる
春の目をあびてまどろむ昼寝かな
山裾へ梅の香りの巡りゆく
川のふち光耀う猫やなぎ
満蒙を学ぶ若人風光る
たんぽぽや介護士の笑み頼もしく

田中 君子
村山たか子
松葉 孝子

音もなく敷く絨毯や紅椿
夕焼けていつしか消えし木守柿
頬なづる風やわらぎて日脚伸ぶ
冬籠もり灯油のおもき齢かな
寒梅のかすかな匂ひ闇深し
寒のバラ根元で開く愛らしさ

小林 カツ
原 美恵

伊那谷を囲む山脈春の雪
春うらら歩道橋にて立ち話
鶏小屋の寒たまご病む母へ
梅古木樹齢尋ぬる人多し
仁王像ふと声洩らす芽吹時
眠る山繋ぐ吊橋月渡る

松尾萬里子
下平とみ子
吉川てる子

木枯がたたく計を告げさりし扉を
走り根断ち整ふ磴や春隣

砂場 文子
本山 栄信

お知らせ 歩こう！春のたかぎ村in伊久間 参加者募集!!

4月26日(日) 伊久間加工センター集合

雨天の場合中止 ※雨天の場合の連絡は、ホームページ・Facebook、くりんネットでお知らせします
午前9:30~ 受付開始 11:30頃終了予定

◇持ち物：参加費 クラブ年間会員300円・非会員500円
飲み物、ノルディックポール(お持ちのかた)、少々のおやつ
※お支払いは当日現金でおねがいします。会員のかたは会員証の提示が必要です。

◇コース：伊久間加工センター発 ぐるっと歩いて、総距離約4.6km

◇申し込み締め切り：4月22日(水)

◇申し込み方法：福祉センター内事務局でのお申し込みか電話(33-2002)、またはメールをお願いします。

■注意事項：

- ①車で来られた方は、伊久間農産物加工センターの駐車場をご利用ください。路上駐車はご遠慮ください。
- ②参加にあたっては健康管理に十分留意のうえご参加ください。事故等の場合は自己責任において処理してください。
- ③ゴミ等は各自で持ち帰ってください

【お問い合わせ】たかぎスポーツクラブ事務局

〒395-1107長野県下伊那郡喬木村6677 喬木村福祉センター 教育委員会内
メール：takagi.sportsclub@gmail.com 電話：0265-33-2002 FAX：0265-33-3682
ホームページ：http://takagi-sportsclub.jimdo.com/



尾曾恵子さん、 剣道全国大会に出場

三月二十二日に、第七回全日本学連剣友剣道大会が岡山で行われ、阿島南の尾曾恵子さんが長野県代表として出場されました。



編集後記

今年の桜は色が美しい。花が開花してから咲ききるまでが早いと色が美しいらしい。
先日、ふるさとづくりフォーラムのワークショップでは、村への建設的な意見やアイデアが多く出された。

リニア開通に向け少しずつ、少しずつ、毎日、毎日、なにか行動していきたいと思っている。都会とは違う村の良さをもっと出して、ここに住むのが楽しいと思える様に。

お知らせ 平成27年度 公民館楽遊塾 第1講座 飯山市めぐり 参加者募集!

○期日 5月10日(日) 午前6時45分 役場集合

○日程

7:00役場発 == 7:20松川 | C == (休憩) == 9:50豊田飯山 | C ==
10:10~11:20高橋まゆみ人形館 == 11:30~12:45昼食 == 13:00~15:00寺めぐり
== 15:20~15:50菜の花公園 == 16:15豊田飯山 | C == (休憩) == 19:05役場着

○参加費 入館料…一般：610円、小・中学生：410円 昼食代

○募集人員 25名(対象者：“喬木村民 限定” “1組2人まで”)

○申込方法 でのお申し込みをお願いします。5月1日締切

受付期間 4月27日(月)~4月30日(木)

※先着順ではありません。申込み多数の場合は抽選となります。

○お問い合わせ先 喬木村公民館事務局 Tel：(0265) 33-2002

チャレンジデー2015

5月27日(水)午前0時~午後9時

【対戦相手】

秋田県 井川町(人口5,143人)

チャレンジデーへの参加も今回で14回目になります。これまでの対戦成績は11勝6敗です。今年の実行委員会では、参加率70%以上を目標に取り組みます。当日は多くの方のみなさんの参加をお願いします。また、当日の企画イベントも募集しています。住民のみなさんのご協力をお願いします。